

## 徳島大学の特徴および将来の方向性

徳島大学長  
青野敏博

### 徳島大学の特徴



- 徳島大学の特徴としては、
- (1) 医学、歯学、薬学部および疾患酵素学研究センターと疾患ゲノム研究センターが揃っており生命科学研究に強い大学である
  - (2) 大学院の重点化を進めており国際的な教育、研究の拠点として世界に情報を発信している
  - (3) 工学部を中心に産学官の連携に力を注いでおり企業からアクセスしやすい大学と評価されている
  - (4) 総合科学部が中心となって教養教育を担当しておりカリキュラムが充実している
  - (5) 徳島大学病院は先進医療の数が全国トップクラスと多く県民の医療を担っていることなどが挙げられます。

### 将来の方向性

- 将来の方向性としては、
- (1) 前記の特徴を生かし個性輝く大学を創成する
  - (2) 研究大学を標榜し先進的な研究拠点の確立を目指す
  - (3) 創造性教育により教育の質を高め進取の気風を持った学生を育成する
  - (4) 大学の国際化を図り本学と海外の大学から同時に学位が得られるダブルディグリープログラムをさらに発展させる
  - (5) 地域連携事業や産学官連携事業の具体化を通して社会貢献を果たすことなどを考えています。

教職員はじめ学生の皆さん、徳島大学のさらなる発展を目指しましょう！



## 徳島大学の概要と評価



総務担当副学長  
黒田泰弘

徳島大学は、「自主と自律の精神に基づき、真理の探究と知の創造に努め、卓越した学術及び文化を継承し、世界に開かれた大学として、豊かで健全な未来社会の実現に貢献する」との理念の下に研究活動を基盤にした教育と社会貢献活動を行っています。

徳島大学は、国立大学87校の中で、附属病院をもつ中規模の大学です(表1)。年間の運営予算は、約380億円で、徳島経済研究所の調査によると、徳島大学が地域に及ぼす経済波及効果は575億円と徳島県の経済に大きな影響を与えています。

国立大学が平成16年4月に法人化されてから、企業と同じように、定めた目標の達成をめざして企画立案(Plan)し、その計画を実施(Do)した後、成果を評価(Check)し、その評価結果を大学運営に反映(Action)して改善につながるPDCAサイクルが今まで以上に重視されています。そのため、大学は評価を避けて通れません。大学に義務付けられている評価には、国立大学法人評価と認証評価があり、いずれも自己点検・評価の結果を踏まえて実施されます。

法人評価にあたっては、法人の自己

評価で、大学の目的、教育研究組織実

点検・評価に基づき、法人の中期目標(6年間)の達成状況について調査・分析を

行い、法人の業務全体を総合的に評価されます。評価は、毎年度及び中期目標期間ごとに行われ、評価項目は、①教育研究等の質の向上、②業務運営の改善及び効率化、③財務内容の改善、④自己点検・評価及び情報提供、⑤その他業務運営に関する重要事項(施設設備の整備、安全管理等)です。

本学は、平成16、18年度において毎年度、「中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」と総合的に評価されました。法人評価は、法人の運営の改善に役立てるとともに、中期目標期間終了時の評価の結果には、平成22年度から始まる次期中期目標・中期計画及び資源(国からの補助金)配分に反映させられます。

認証評価は、①大学の教育研究活動等の質の保証、②評価結果をフィードバックすることによる大学の教育研究活動等の改善、③大学の教育研究活動等の状況について、社会に対する説明責任のために実施され、7年以内に度、受けなければなりません。

認証評価は、教育を中心とした総合

## 徳島大学病院の概要と特徴



医学部・歯学部附属病院長  
香川 征

**1 規模について**  
病床数は710床、医科歯科診療科数26、中央診療施設約40施設、職員は医師約440名、歯科医師約190名、看護師約570名をはじめ全体では約1500人の大世帯です。入院延患者数約22万人、外来延患者数約40万人、手術件数約6300件といったデータが示すとおり大変多忙をきわめております。

**2 特徴について**  
大学病院の使命は古くからいわれている教育・研究・診療が三大基本ですが、最近特に社会貢献の重要性が叫ばれています。言い換えれば、大学病院が地域に是非必要であると住民に望まれる病院となることです。そのために次のようなことを行っています。

- (1) 医療の質の向上について  
自助努力はもちろんです。第三者による評価・点検・指導を受けることも重要なこととされています。本院では病院品質管理室においてその中に①ISO9001 ②病院機能評価③フライバシマーク等の部門をおき、各機構から認定を受け医療の質の向上に努めています。
- (2) 一般診療科以外の特徴ある診療

先進医療をはじめとて多くの

難病・重症患者を診察治療を行っています。しかし、病院内に新しく設置した組織・診療システムの一部を紹介いたします。

A がん診療連携センター  
横断的がん診療すなわち多くの診療科の連携による診断・治療をめざして設置されました。地域がん診療連携拠点病院にも指定されています。

B 総合周産期母子医療センター  
主にリスクの高い出産を引き受けています。年間約600件のお産のうち、このセンターの特徴上異常分娩が約半数を占めています。

C 脳卒中センター(SCC)  
県域の急性期脳卒中の治療の中心を担っています。患者さんは年々増加傾向にあります。

D アンチエイジング医療センター  
メタボリックシンドローム健診を行なっています。現在数ヶ月先まで予約でいっぱいです。

E 美容外来  
これもアンチエイジングの診療活動のひとつで、中年女性のしみ等の治療等を医学的見地から行っています。

F 子と親のこころ診療室

子供の虐待やDV防止等をふくめ、子供と親のそれぞれの主として精神的な相談・治療にあたっています。その他色々な試みを行っています。

ですが、大学病院として地域に根ざし地域貢献できる「大学病院らしい病院」を職員一同めざしています。



表1 大学の情報 (平成20年5月現在)

項目	データ
キャンパス	面積 370,920㎡
学生数(総数)	7,860人
学部学生	6,047人
大学院生	1,543人
専攻科	11人
社会人編入生	人
外国人留学生	259人
教職員数(総数)	1,919人
学長	1人
役員	7人
教員	867人
事務員	282人
技術職員	149人
病院職員	613人
運営予算	412億円
附属センター・施設	19施設
附属図書館	面積 8,449㎡
蔵書	813,078冊
雑誌	16,925冊



大学病院の情報

項目	データ
病院延面積	92,547㎡
診療科	26科
患者数	外来 401,270人 入院 215,797人
医療スタッフ	1,506人
病床数	710床
病院内センター数	19施設
臨床検査件数	2,641,075件
手術件数	6,327件
麻酔件数	8,595件
分娩件数	551件
先進医療承認状況	7件

# 徳島大学の教育の特徴とその将来

教育担当副学長  
川上博

本学は、教育に関する理念を「明日を目指す学生の多様な個性を尊重して、人間性に富む人格の形成を促す教育を行い、優れた専門的能力と、自立して未来社会の諸問題に立ち向かう進取の気風を身につけた人材の育成に努める。」と定め、人材を養成しています。

▼▼▼▼▼  
本学では、教養教育が特に重要であるとの認識に立ち、総合科学部が中心部局となり、①大学入門科目群、②教養科目群、③社会性形成科目群、④基礎形成科目群、⑤基礎科目群からなる新カリキュラムによる全学共通教育を行っています。

▼▼▼▼▼  
全学共通教育と工学部では、創成学習・共創学習をカリキュラムに取り入れ、学部を越えた自主創造活動に取り組みなど、本学の教育理念である「進取の気風」を育む創造性教育を推進しています。

ヘルスバイオサイエンス研究部に医

療教育開発センターを設け、医学、口腔科学、薬科学、栄養生命科学及び保健科学の教員による分野を越えた医療人育成教育(分野横断的教育、チートリアル教育、模擬患者による教育など)を実施しています。

▼▼▼▼▼  
栄養学科は、全国の医学部の中で唯一設けられた学科であり、我が国の栄養施策の推進役となりうる人材を養成しています。

▼▼▼▼▼  
工学部では、工学教育に関する日本技術者教育認定機構(JABEE)の認定を受けており、教育の質が保証されています。

▼▼▼▼▼  
人間・自然環境研究科臨床心理学専攻は、医学部と連携して、幅広い領域で「心のケア」に対応できる臨床心理士の養成機関となっています。

▼▼▼▼▼  
本学では、平成14年度より全学的なファカルティ・ディベロップメント(FD)を1期3年単位で推進しており、現在、

質の高い第3期FD推進プログラムが実施されています。

▼▼▼▼▼  
本学では、全ての学部が教育改革の支援事業に採択されており、次にあげる11件の教育プログラムを推進し、将来を見据えた改革を行っています。特色ある大学教育支援プログラム(平成15年度工学部)、現代的教育ニーズ取組支援プログラム(平成16年度工学部、平成18年度医学部、総合科学部)、大学の国際化推進プログラム、戦略的国際連携支援(平成18年度医学部、平成18年度先端技術科学教育部)、地域医療等社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成推進プログラム(平成18年度薬学部)、「魅力ある大学院教育」イニシアティブ(平成17年度医学部、平成18年度口腔科学教育部)、派遣型高度人材育成協同プラン(平成18年度先端技術科学教育部)、中国・四国広域がん専門医療人養成プログラム

△(平成19年度医学部薬学部等…中国・四国8大学がコンソーシアムを形成して8コースを整備、本学はがん専門薬剤師コース、医学物理士コース、がん専門栄養士コースの力リキニラム作成幹事校となっている。)特に、平成18年度には採択件数が全国第2位でした。



## 徳島大学の研究とその展望

研究担当副学長  
長尾 善光

本学は、研究における中期目標・計画の第1期基本構想(平成16~22年度)に基づき、ライフサイエンス及びテクノサイエンスを基盤とする世界最高水準の研究拠点の構築を最重要目標としています。目指す研究領域を、「健康生命科学」、「社会技術科学」、「地域創生総合科学」と明確に定め、根元的な真理を探究する研究と社会的要請の強い課題を解決する研究を通して、国際社会で高く評価される学術研究を展開しています。さらに、自由な発想による研究を尊重し、個性と特色を伸張させた独創的な研究を展開して競争的環境の中で個性が輝く大学を目指しています。

▼▼▼▼▼  
高度な研究開発ポテンシャルを有する各部局及び最先端研究センター、「医学部・歯学部附属病院(四国で唯一治療拠点病院に採択)」、「ストレス栄養科学教育研究センター(ヒューマンストレス研究センター)を発展的に改組し、平成20年度に全学共同教育施設として設置」等が部局横断的に連携し、先端医学部・プロテオミクス・ゲノミクス、ストレス生理学、先端栄養科学、フーディング・テクノロジー等を基盤として本学独自の「健康生命科学領域」を構築し、国内外大学及び研究機関との国際共同・国内連携研究体制下に世界最高水準研究の拠点形成(平成15年度に21世紀COEプログラム二拠点採択、現在グローバルCOEプログラムに申請中)を重点的に推進しています。

▼▼▼▼▼  
研究機関との連携のもとに、情報技術科学、地球環境技術科学、生命技術科学、新機能性材料科学等の発展を目指した独創的な革新的技術を開発し、世界が共有する諸問題の解決にチャレンジしています。神戸大学と共同開発に成功した、ガリウム・ヒ素半導体を使用する大容量光通信向けスイッチ技術は高く評価されています。

▼▼▼▼▼  
ST重点地域研究開発推進プログラム  
③文部科学省が所管する独立法人の公募型資金：バイオインフォマティクス推進事業、二国間交流事業  
④文部科学省の公募型資金：都市エリア産学官連携促進事業、知的クラスター創成事業、ゲノムネットワークプロジェクト等と多岐に亘っています。主たる獲得研究資金等ならびに各種ランキングで見ると本学の学術研究に係る各種業績データ等についてまとめて表にしました。

▼▼▼▼▼  
研究施設機器等の完全共有化及び全学的支援体制、研究資金の確保・選択配分、研究用材の育成、確保・選択配分を迅速に企画・実施しなければなりません。他方、教員及び研究者個々においては、斬新で独創的な研究課題を恒常的に創出し、国内外の所属学会等で存在感のある研究を維持してほしい。

本学の研究体制は、戦略的に整備されています。すなわち、医・歯・薬・栄養の大学院研究科を統合して平成16年

「ソシオテクノサイエンス研究部」では、社会の発展に必要な21世紀型科学技術(環境保全と科学技術の共存)について戦略的に研究開発を推進させ、「フロンティア研究センター」(平成17年度に国際的に評価の高い研究や研究グループを選定して工学部に設置し、平成18年度にソシオテクノサイエンス研究部に移行)、「高度情報化基盤センター」、「環境防災研究センター」、学内他領域(健康生命科学・地域創生総合科学)との連携ならびに国内外大学・

▼▼▼▼▼  
本学が獲得した競争的研究資金は多種多様であり、研究を標榜する徳島大学の研究開発ポテンシャルの資金基盤となっております。①文部科学省の競争的資金：各種科学研究費補助金、科学技術振興調整費、21世紀COEプログラム ②文部科学省が所管する独立法人の競争的資金：CREST、さきがけ等の戦略的創造研究推進事業、J

▼▼▼▼▼  
今後の展望として、本学が目指すチャレンジングな研究の展開は世界規模で益々熾烈になることが予測されます。本学は研究における中期目標・計画の効率的な達成を目指していますが、そのためには、戦略的な研究基盤整備(研



▼▼▼▼▼  
「ソシオテクノサイエンス研究部」では、社会の発展に必要な21世紀型科学技術(環境保全と科学技術の共存)について戦略的に研究開発を推進させ、「フロンティア研究センター」(平成17年度に国際的に評価の高い研究や研究グループを選定して工学部に設置し、平成18年度にソシオテクノサイエンス研究部に移行)、「高度情報化基盤センター」、「環境防災研究センター」、学内他領域(健康生命科学・地域創生総合科学)との連携ならびに国内外大学・

**■主な競争的研究資金**

- 21世紀COEプログラム(平成15-19年)
  - (1) 多因子疾患克服に向けたプロテオミクス研究 6.3億円
  - (2) ストレス制御をめざす栄養科学 9.2億円
- 知的クラスター創成事業(平成15-19年)
  - ヘルステクノロジーを核とした健康・医療クラスター 18.0億円
- 科学技術振興調整費(平成17-21年)
  - 生体成分粘膜炎アジュバントによる戦略的予防 6.4億円(予定)
- 保健医療分野における基礎研究推進事業(平成17-19年)
  - 新規TPPVの発見を基盤とした「熱不安定性フェノタイプ」のスクリーニング、診断法の確立と治療法の開発 1.4億円

**■本学が獲得した外部資金**

- 公的な競争的資金
 

(1) 文部科学省科学研究費補助金	平成18年度	11.0億円(21位)
	平成19年度	11.5億円(22位)
	平成20年度	9.8億円(24位)
(2) 文部科学省競争的資金	平成18年度	6.1億円
(3) 他省庁研究費	平成18年度	2.6億円
- 産学連携による資金
 

(1) 委任経理金	平成18年度	8.2億円(13位)
(2) 受託研究	平成18年度	9.1億円(26位)
	平成19年度	9.2億円
(3) 共同研究費	平成18年度	4.7億円(18位)

**■学術研究論文から見た徳島大学:大学ランキング**  
2008及び2009「Scopus」

- 掲載論文数
  - (1) 平成16-18年 2,814件(全国国公立大学744校中 21位)
  - (2) 平成15-19年 4,747件(全国国公立大学744校中 23位)
- 教員1人あたりの論文数
  - (1) 平成16-18年 5.83件(全国国公立大学744校中 24位)
  - (2) 平成15-19年 9.79件(全国国公立大学744校中 32位)
  - (3) 平成17年 化学論文抄録誌 1.07件(全国総合大学中 10位)
  - (4) 平成18年 化学論文抄録誌 1.01件(全国総合大学中 12位)
- 論文被引用数
  - (1) 平成16-18年 5,571回(全国国公立大学744校中 21位)
  - (2) 平成14-18年 臨床医学論文数 903件、引用度指数 113.6(全国国公立大学 744校中 10位)
- 「ネイチャー」・「サイエンス」掲載件数
  - (1) 平成19年 サイエンス 2件(全国国公立大学744校中 6位)

# マスコミやシンクタンクから見た徳島大学

総務部秘書課長  
竹内美佐子

ここ数年、マスコミでは大学ランキングの特集を掲載することが増えてきました。昔前の大学の評価指標といえは入学試験の難易度である偏差値ぐらゐしかありませんでしたが、最近では、多様な観点から評価されるようになってい

ます。週刊東洋経済の「日本の大学トップ100」(2007年10月13日特大号)では、徳島大学の評価は、総合ポイント53.4で全国の大学中26位(国立大学16位)という結果です。この順位は中国・四国地区の大学としては広島大学の23位に次いで第2位です。

この特集号で、徳島大学が高評価を受けた項目は、いわゆる外部資金の獲得力がA、経常費用のうち教育研究及び診療にどの程度支出しているかを示す「教育投資」がAとなっており、国立・公立大学中、資金獲得力ランキングが15位、教育投資力ランキングが5位です。

表1参照

## 日本の大学トップ100

(週刊東洋経済 2007年10月13日号より)

- 1位 東京大学
- 2位 慶應義塾大学
- 3位 京都大学
- 4位 大阪大学
- 5位 早稲田大学
- 6位 東京工業大学
- 7位 北海道大学
- 8位 東北大学
- 9位 九州大学
- 10位 筑波大学
- (以下国立大学のみ)
- 13位 名古屋大学
- 16位 千葉大学
- 18位 神戸大学
- 19位 一橋大学
- 22位 山梨大学
- 23位 広島大学
- 24位 横浜国立大学
- 26位 徳島大学
- 28位 電気通信大学
- 29位 群馬大学
- 30位 東京農工大学

(注) 166校(私立104校、国立58校、公立4校)を最新の財務データや就職率等の学生情報を基に3項目11の指標を抽出。指標ごとに偏差値を計算し、その単純平均を総合ポイントとし、順位付け。

表2 国立大学法人の財務状況(総合評価)

- (朝日新聞社大学ランキング2009より)
- 1位 京都大学
  - 2位 北海道大学
  - 3位 筑波大学
  - 4位 大阪大学
  - 5位 長崎大学
  - 6位 東京医科歯科大学
  - 7位 東京工業大学
  - 8位 徳島大学
  - 9位 九州大学
  - 10位 広島大学

(注) 選定した30の財務指標ごとに、良い大学から順に1~83の順位点を付け、さらに指標の重要度により5点又は10点を乗じたものの合計を評定の低い方から順位付け。

表2参照

朝日新聞社は、全国約750大学を対象に、教育・研究・就職などあらゆる分野について調査・分析し、毎年「大学ランキング」として大学総合評価誌を発行しています。2009年版では、掲載の65指標のうち徳島大学は15指標がランクインしています。

教育・研究以外の指標としては、国立大学法人の財務状況の評価が8位の高評価を得ています。

財団法人徳島経済研究所が2007年に徳島大学の経済波及効果について調査分析をしています。その結果、徳島大学の経済波及効果は575億円(県内総生産(2004年統計、2兆8686億円)の2%を占めていることが分かりました。

調査では、地域経済と関わりのある大学活動を4分類化しており支出額の内訳は、①研究機器の購入などの教育研究活動が160億円、②教職員や学生の消費が276億円、③建物の改修などの施設整備が32億円、④大学院患者や学会参加者などの大学来訪者による消費が107億円となっています。

この結果を、2007年に文部科学省が日本経済研究所に委託し実施した、弘前大学、群馬大学、三重大学及び山口大学の地域経済効果と徳島大学を比較すると、県内総生産に対する比率としては5大学中徳島大学が最も割合が高くなっており、徳島大学が地域社会になくてはならないものであることが分かります。

表3参照

表3 徳島大学の県内に及ぼしている経済波及効果

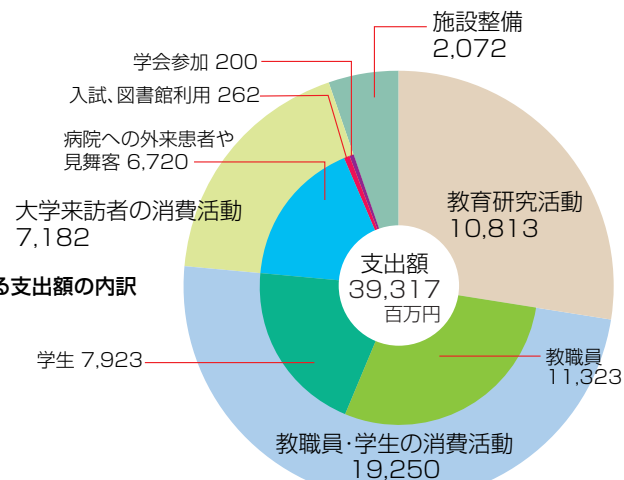
(財)徳島経済研究所 調べ

カテゴリー	支出額	総合効果(波及効果)
教育研究活動	10,813百万円	16,008百万円
教職員・学生の消費活動	19,250百万円	27,615百万円
大学来訪者の消費活動	7,182百万円	10,675百万円
施設整備	2,072百万円	3,213百万円
計	39,317百万円	57,511百万円

### 県内総生産に対する比率

徳島県の県内総生産	28,686億円①
徳島大学の経済波及効果	575億円②
割合	②/①=2.0%

図1 徳島大学の活動による支出額の内訳



# 平成19年度卒業(修了)生の就職・各種国家試験合格状況について

## 2008年3月卒業者の就職率

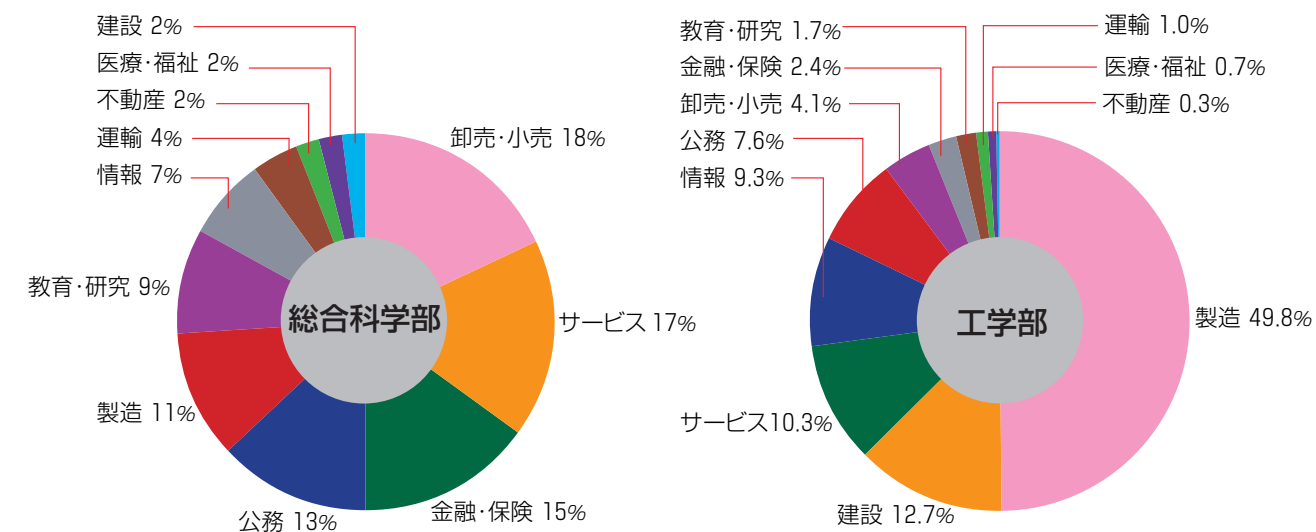
大学 96.9%  
(うち国公立大学 97.5%)

(2008年4月1日現在/5月16日文部科学省発表)

## 2007年度 学部卒業生 進学・就職状況

	総合科学部		医学部			歯学部	薬学部	工学部	
	医学科	栄養学科	保健学科	昼間	夜間主				
卒業者数	264	89	47	131	51	92	537	97	
進学者数	49	0	17	16	0	58	297	22	
その他	26	4	1	1	2	3	4	6	
就職希望者数	187	85	29	114	49	31	234	68	
就職者数	181	85	29	112	49	31	231	60	
就職率	96.8	100	100	98.2	100	100	98.7	88.2	

## 学部卒業生(医歯薬以外)の産業別進路先



## 2007年度 大学院修了者 進学・就職状況

### 修士(博士前期)課程修了者

	人間・自然環境研究科	医学研究科 医科学教育部	栄養学研究科 栄養生命科学教育部	保健科学教育部	薬学研究科 薬科学教育部	工学研究科 先端技術科学教育部
	修了者数	50	18	31	15	60
進学者数	3	4	7	0	8	20
その他	10	4	5	9	5	6
就職希望者数	35	10	19	6	47	295
就職者数	30	10	19	6	47	289
就職率	85.7	100	100	100	100	98

### 博士(博士後期)課程修了者

	医学研究科 医科学教育部	栄養学研究科 栄養生命科学教育部	歯学研究科 口腔科学教育部	薬学研究科 薬科学教育部	工学研究科 先端技術科学教育部
	修了者数	23	12	21	16
進学者数	1	0	0	0	0
その他	15	7	5	8	30
就職希望者数	7	5	16	8	29
就職者数	7	5	15	7	24
就職率	100	100	93.8	87.5	82.8

## 2007年度 各種国家試験等の合格状況

2008年5月8日現在

	合格者数	国立大学での順位
医師免許	92 (88.5%)	35位
歯科医師免許	54 (90%)	2位
薬剤師免許	88 (74.6%)	7位
管理栄養士免許	45 (95.7%)	
看護師免許	62 (96.9%)	
診療放射線技師免許	34 (94.4%)	
臨床検査技師免許	15 (100%)	
助産師免許	17 (100%)	
保健師免許	72 (98.6%)	
合格者数 (学部)		
国家公務員 II種	14	(総合科学部 6、工学部 8)
地方公務員	39	(総合科学部 19、工学部 20)
教員免許 中学校	38	(総合科学部 38)
高校	120	(総合科学部 92、工学部 28)
養護教諭	7	(総合科学部 7)

特集 評価される徳島大学

